

ミニバレー交流について

報告者 所長 櫻井 達美

北海道ミニバレー協会の一行6名がサハリンを訪問し、当地の関係団体等との間でさまざまな交流が行われた。今回の訪問は同協会がサハリン州関係者との間でミニバレーの交流を開始して15周年、そしてサハリンバレーボール協会との間で協力協定締結5周年を記念して行われたもので、州内の指導者や大学生を対象にしたセミナーや州内各地からの約15チーム参加による大会などが開催された。

サハリンでは、ボールを使って年少者の運動能力向上に役立てられるという当地の指導者によるアイデアのため、ユジノサハリンスク市内30の幼稚園等において体操プログラムとして取り入れられていることが特徴的であり、7つの幼稚園が参加した「ミニバレーのボールを使ったウォーミングアップと園対抗ミニバレートーナメント」も開催された。

北海道発祥のミニバレーがサハリンで普及していることを喜ばしく思うとともに、今後ますます双方の関係団体等の交流が深まることを期待する。



一般の大会の様様（手前が北海道チーム）



幼稚園児による「ウォーミングアップ」



幼稚園児の「トーナメント」

北海道・サハリン州市民交流会議の開催

報告者 主査 阿部 大祐

平成29年10月19日、当地において、第12回「北海道・サハリン市民交流会議」が開催された。本会議は、2006年以降、札幌とユジノサハリンスクにおいて相互開催され、市民外交のあるべき姿を希求し、時局ごとの課題をテーマとして取り上げ、両地域からの出席者が意見交換を行うものである。本年のテーマは「日ロ両国間の多層的な人的交流拡大に向けて」であり、日露政府間でのハイレベル協議が進む中で、両国民同士の交流を進めることにより、特に、青年、スポーツ、教育、文化等の幅広い分野で両国の人的交流を発展させていくことが確認された。

また、会議中、今後の会議の在り方をめぐる意見交換の中で、会議と並行して市民同士が積極的な交流の場を設けるべきではないかとの意見もあった。来年は国レベルでは「ロシアにおける日本年」、「日本におけるロシア年」、また、北海道とサハリン州も「友好・経済協力に関する提携」から20周年の節目の年であるので、市民交流会議の開催がより一層日露間の交流の発展に資するものとなることを願う。

